農薬の事故
ことしこそはゼロに

いま農薬散布のまっさかりです。このころになると、毎年「農薬の事故や自殺をなくしよう」と事故防止がさけばれますが、この種の事故はあとをたちません。そこで県では、6月15日から7月14日までの一カ月間を「農薬危害防止運動の月間」と定め、事故防止を呼びかけています

残品と空きビン 回収に全力を

6月15日から7月14日まで　農薬危害防止運動

新津保健所管内（新津市五泉市、亀田町、小須戸町村松町、横越村、白根市）で昨年発生した農薬使用による自殺六件のうち、四件が当市で発生したものです。このように農薬の事故、使用量ともに多い当市を、県は「農薬危害防止重点地区」に指定し、販売業者、使用者などの指導にあたることになりました。ことしこそは、市民総ぐるみで事故防止につとめ、事故ゼロを実現しましょう。

26日からホリドール散布

ホリドールの散布は、六月二十六日から七月二日までの間に行なわれます。この薬は特定毒物に指定され、これをわずか〇・五㌘飲んだだけで死亡するという強いものです。

ですから、散布されるかたは充分注意されるので、散布中の事故はそんなに大きいものがありませんでした。

いままでは、残品や空きビンの処理がうまくいってなかったため、昨年のように四件も発生したことと思います。残品、空きビンの処理は確実に行なってください。

つぎに、散布期間中などの散布者、歩行者に対する注意事項を紹介しますので、これを守って、農薬散布を無事終わらせたいものです。

一般者向け

散布場所の立ち入り禁止

ホリドールを散布した場所には赤旗か立て札が立てられています。そこには絶対はいらないでください。とくに、保育園や学校にかよっている幼児、児童、生徒は、少しくらい遠まわりしても絶対そこは通らないよう注意してください。

散布者向け

全身を石けんで洗う

からだの調子が悪い手足に傷がある、生理日の婦人、妊婦、年少者、老人などは作業に従事しないこと。

手足はもちろん、全身を石けんで洗う。一度作業に使った衣服は、下着まで全部取り替え、石けんでよく洗う。気分が少しでも悪くなった場合、農薬を散布したことを医師に伝え、診断を受けること。

わが校の伝統

松橋小学校　その2

先回は同校の歴史と歴代校長などについて述べましたので、今回は卒業生の数や学校名のうつり変わり、とくちょうなどについて述べます。

二千九十人が卒業

昨年度末の卒業証書の最終番号は二千九十番でした。ですから、同校を卒業した人は二千九十人ということになります。開校当時からの各年の卒業生を紹介することはできませんので、過去十年間の児童数を下のような表にしてみました。この表のとおり、三十五年に十人ふえただけで、あとは毎年減り、十年間で六十六人減りました。

校名九回変わる

二千九十人が卒業する間に学校名はつぎのように変わりました。

明治十二年→教育令の発布で新潟県第三中学校区第一中学区公立小学松橋校となる。

同十九年→小学校令の発布で簡易科松橋小学校となる。

同二十三年→村立松橋尋常小学校となる（修業年限三年）

同四十二年→根岸村松橋尋常小学校となる（修業年限六年）

昭和十一年→根岸村松橋尋常高等小学校となる（修業年限八年）

同十六年→松橋国民学校となる。

同二十二年→根岸村立松橋小学校となる。

同三十年→町村合併で白根町立松橋小学校となる。

同三十四年→市政施行で白根市立松橋小学校となる。

全校マラソンを実施

同校のとくちょうは何といっても〝全校マラソン〟でしょう。小学校で全校マラソンを行なっているのは全国でもめずらしいと思います。

とくちょう

全校マラソンを実施

これは、忍耐力や根性の養成、体位の向上などを目的として、四十年から行なっています。スポーツの日が制定されるまでは毎年十一月の末ごろ行なっていましたが、この日が制定されてから十月十日に行なっています。

同マラソンは各学年ごとにそれぞれのコースを走り、帰ってくると、疲労回復のためにおばさんがつくってくれたさとう湯が用意してあります。全校マラソンを行なう前に、もちろん健康診断をして危険のないようにしています。そのためか、腹いたなどを除いては大きな事故は発生していません。

このほか、悪い方のとくちょうや設備不足にはつぎのようなものがあります。

学校の象徴というべき校門がない。便つぼが小さい上、旧式なため不衛生だ。いまは交通量がないがグランドがせまい上グランドの脇に市道が通っていてその区別がつかない。校舎が古いので、少し西風が強いとゆれる。

過去10年間の児童数のうごき

年度	34	35	36	37	38
卒業生	189	199	199	183	175
年度	39	40	41	42	43
卒業生	170	157	143	137	123

〝わあ、いっぱいあるなあ〟

西方さん　ことしもおもちゃを寄贈

六月八日本市舟江町出身の西方伍郎さん（五〇）から〝市内の保育園で使ってください〟と、超特急ひかり号など約百四十点のおもちゃがことしもプレゼントされました。

西方さんは、現在東京でおもちゃ工場を経営していますが「ちいさいときにお世話になったご恩返しに」と、四十年から毎年五月の「子どもの日」に送りつづけてきました。西方さんからはおもちゃを、園児からはかわいいお便りや図画を送ったりしているのに、西方さんと園児はまだ一度も対面したことがありませんでした。そこで、園児からの「ことしの凧合戦にはぜひ見にいらっしゃい」という手紙が届いたのをきっかけに、凧合戦見物をかねての保育園訪問となったわけです。

〝おもちゃのおじさん〟と親しまれている西方さんから直接おもちゃを手渡してもらい園児たちはニコニコ顔。園児たちはさっそく人形を抱いたり、車を走らせたりしていました。

〝おじさんありがとう〟とニコニコ顔の園児（中央保育園で）

質問箱

母の会の寄付行為に疑問
当局の指導は

市内の某保育園児の親です。過日、母の会の役員さんがこられ「母の会の会として保育園へテレビを入れることになったから」とのことで、千円の寄付金を集めてゆかれました。

四月という月は何かと出費が多く苦しい月ですが「子どものためなら」とやむなく寄付しました。しかし、大ぜいの親ごさんの中には、突然の千円の出費は生活に影響を受けるかたもあろうかと思われます。役員さんたちが園児のために、忙しいしごとを犠牲にしてまわってくださったり、ご心配くださったりする点については心から感謝しておりますが、このような場合、まず、会員みんなに寄付についての賛否をはかった上で、ある程度の期間をおき、分割寄付という形でもやっていただいたら、父兄も助かると思います。このような園の運営について、当局はどのようなご指導をなさっているのでしょうか。（園児をもつ親）

寄付行為

基本的には好ましくない

母の会は、家庭環境などの理由で、保育所に子どもを預けている母親の、子どもに対する理解や養育の技術を高めたり、施設での子どもの保育や指導と歩調を合わせて子どもの育成をはかろうということから出発したものです。これは、母親自身の自主的な集団活動であり、これにより母親の力が高まり、それが、精神的な向上の面でも非常によい効果をあげている母の会もたくさんあります。ご質問のテレビなどの寄付については、愛児の喜びは別として、市としても誠にありがたく思っております。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。母の会の資金づくりについて、基本的には寄付行為は好ましくありません。ただ保護者などの母性愛からでる善意の寄付行為はありがたく頂だいしております。このたびの寄付については、無理の点があったとのことですが、母の会と福祉事務所が無関係ということはありませんので、今後充分指導し母の会がますます発展するよう努力いたします。

（福祉事務所）

明るい町つくりにひと役

東北電力　防犯灯十灯を寄贈

東北電力は、防犯灯十灯を寄付することにしましたが、その贈呈式が六月四日、産業厚生会館で行なわれました。

さっそく同社の手で、十五間、根岸、高井興野、鷲ノ木新田、西笠巻新田、茨曽根、新飯田駐在所、同農協付近、臼井橋付近、庄瀬保育園付近の十カ所に取りつけられ、現在明るい町づくりにひと役買っています。

良寛遺跡めぐり

参加者を募集

越後の名僧といわれた良寛さまの遺徳をしのぶため、市公民館では、つぎのように「良寛遺跡めぐり」を計画しました。係では、隣近所おさそい合わせの上多数参加されることをお待ちしています。

1.期日　七月二十日（土）
2.行き先　出雲崎町、和島村、寺泊町、分水町
3.当日の日程　午前八時市役所前を出発し午後五時帰着
4.会費　ひとり五百円
5.募集人員　申し込み順で先着百人まで
6.締め切り　七月十三日まで（会費を添えること）
7.申し込み場所　教育委員会内市社会教育課か市公民館

あなたも聞こう

7月6日 白根小で立会演説会

つぎのような方法で第八回参議院議員通常選挙の「立ち会い演説会」が行なわれます。

多数の人が出席して、各候補の政見を聞き、自分の意志で投票する人を決めましょう。そしてきたる七月七日の投票日には、全市民がそろって投票しましょう。

1.日時　七月六日（土）午後一時から
2.場所　白根小学校体育館

図書館だより

あなたの暮らしの中に図書館を〼お役立てください。

読書相談室

人生の最初にであう本

「絵本は、人間が人生の最初にであう本です。絵本は、もっともっとで、もっとも豪華でなければなりません。なぜなら、人生最初にであう絵本のなかみによって、その人が一生、本ずきになるかどうかが決まるからです」

絵本を見る年齢を、いまかりに二歳から六歳と考えた場合、白根市における絵本人口は約二千七百人。そこで、一歳から二歳までの絵本の与え方について考えてみましょう。

年齢に応じた絵本の与え方

(1)一歳から二歳では

一歳ごろから、しっかりとものの書かれている「ものの絵本」――はじめてものを知る絵本を与えるのがよいといわれます。まず正確で、ていねいに対象を表現していること。なぜなら、絵本のさし絵が、幼児の目に基本的な、ものの形を与えるからです。

一、二歳の幼児が絵本に期待するのは、かわいらしく見えたり、きれいに見えたりする絵でなく、実物以上に本物で、実物を見ているとき以上にそのものの特徴や本質を現わしている絵です。

一歳半から二歳になると、子どもは物の形や、物と物の関係がわかるようになります。

絵本も、三歳から四歳。四歳から五歳までと与え方が考えられます。ぜひ一度、ご家庭の絵本を見て年齢に応じた絵本を与え、子どもの夢をお育てください。

図書寄贈者のお名前

図書の寄贈をいただき、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

内案ご の書刊新

待ちしています。新刊書がたくさんはいりました。お気軽にご利用ください。

△万延元年のフットボール　大江健三郎著

日本の近代百年――その歩みの中の民衆の心を、故郷の土俗的背景と歴史的展望においてとらえ、戦後世代の切実な〝体験〟を、文学的形象としてみごとに結晶した問題作。谷崎文学賞受賞。

△随筆「池田勇人」　林房雄著

田舎侍・池田勇人が宰相への階段を登るにつれて、日本の復興は進んだ。だが精神面がとり残され、現在日本をゆさぶる数多くの難問を、その源泉にさかのぼって分析した敗戦と復興の現代史。

△光る砂漠　矢沢宰著

八歳の時に背負った〝死〟の宿命の中で、明るく、おおらかに、苦悩し、愛し、真実を求めて生き抜いた一つの青春。心うつ生命（いのち）の詩と日記。感動する話題作。

△古代史疑　松本清張著

〈「邪馬台国」に取組んだのは、この問題が一種の推理だからだ〉と著者自身が語っているように、本書は謎の多い日本の古代の実証でなく、だいたんな仮設からはいる演えき的方法で追究する独創的な古代史の考察である。

◇原色の呪文＝岡本太郎◇わが闘争＝堤玲子◇徳川浪人伝＝柴田錬三郎◇夢の逃亡＝安部公房◇一葉舟＝岡潔◇紅刷の江戸暦＝松本清張◇底にいた悪党＝富田常雄◇美貌の歴史＝有馬頼義◇心の対話＝岡潔・林房雄

昭43・6・15日現在
▽小林茂＝東京都▽小林農平＝上塩俣▽荏原スミ＝戸頭▽曽根清市＝茨城県▽長井信治＝新潟市▽松沢周作＝左ェ門小路▽ダイヤモンド社＝東京都▽鈴木龍男＝五六ノ町